

「第8回地域包括ケア実践研究会」のご案内

地域包括ケアシステムから地域共生社会へ

—福祉・医療専門人材の確保に向けて—

地域包括ケア実践研究会 会長 林 芳繁

今回の奈良大会は、本来昨年度において開催される予定でしたが、新型コロナウイルスのまん延により、一年延期して開催させていただきます。

テーマは「地域包括ケアシステムから地域共生社会へ～福祉・医療職人材確保に向けて～」といたしました。

地域包括ケアに関連する国の施策、制度などは転換・改正議論が昨年度の社会保障の給付費分科会などで押し進められました。その時の論点は、①在宅で生活する人の在宅での限界について、②介護保険施設での対応の在り方。③人生の最終段階においても本人の意思に沿ったケアが行われること、また加えて認知症への対応力の強化などがあげられました。そして、令和3年度介護報酬に向けてでは、①地域包括ケアシステムの推進、②自立支援・重度化防止の推進、③介護人材・介護現場の革新、④制度の安定性・持続可能性の確保などでした。

一方、地域包括ケアの考え方は「地域共生社会」への移行の動きもみられるころではありますが、「地域包括ケアの深化」というメッセージ以降の政策的動きが十分ではありません。厚生労働省の制度には各市町村の裁量による事業として「重層的支援体制整備事業」における具体的な支援フローを出しています。枠組みとしては、①相談支援、②参加支援事業、③地域づくり事業の三つの支援を中心としたものです。

また、地域包括研究会は昨年までの報告まで、地域包括ケアの推進及び地域包括ケアシステムの構築を目指す考え方で、「自助・互助・共助・公助」の四つの定義を行い、これに基づき鋭意進められてきましたが、政府は、「自助・共助・公助」といい方に変えつつあります。これらの動向により地域包括ケアの深化、地域共生社会の構築と言ってきたこととの整合性がとりにくくなっていることはゆがめない事実です。

更に、地域医療と介護の連携の中で中心的な課題の一つとなっている人材確保に関するについて、その制度、政策は新型コロナ禍により外国人の技能実習や介護福祉士や看護師の留学生の受け入れ、さらには日本語学校への留学など介護や医療の事業者には情報が脆弱で且つ錯綜している現状もあります。

今回のテーマの趣旨は多岐にわたるものでありますが、地域の人々の心まで分断し、人間らしい生活まで奪ってしまっている新型コロナ禍が及ぼした「地域包括ケア実践」への影響を踏まえ、今後の地域包括ケア実践の課題を明らかにし、その進め方などを皆様ととともに研究・討議していきたいと考えます。皆様のお力で二年分の研究を深化していただくことをご期待申し上げます。

1. 日時 令和3年12月18日(土)～19日(日)
2. 場所 ホテルリガーレ春日野 (別紙参照)
3. 定員 対面(会場) 100人 / Web参加 (先着順、定員になり次第締め切ります)
4. 参加費 対面(会場) 4000円/1人 / Web参加 3000円(資料代含む)
意見交換会費 5000円/1人 ※ 11月30日(火)までにお申し込みください。
5. 主催 地域包括ケア実践研究会
6. 後援 奈良県 奈良県社会福祉協議会 一般社団法人 日本認知症ケア学会
7. 問合せ先 〒632-0056 奈良県天理市岸田町1199
地域包括ケア実践研究会 事務局
TEL0743-66-1188 FAX 0743-66-1241
※ 認知症ケア専門士単位 3単位 認定致します。

プ ロ グ ラ ム

【1日目】 令和 3 年 12 月 18 日 (土)

時 間	プ ロ グ ラ ム
12:00	受 付
12:30 ～12:45	開 会 会長挨拶 地域包括ケア実践研究会 会長 林 芳繁 趣旨説明
12:45 ～13:00	来賓挨拶 奈良県知事 荒井 正吾氏
13:00 ～14:10	◆リレートーク 地域共生社会に向けて何ができるか <スピーカー> 浜野修氏 社会福祉法人飯田福祉会 理事長 栗林孝得氏 社会福祉法人雄勝なごみ会 丸山法子氏 一般社団法人リエゾン地域福祉研究所 代表理事 下島礼子氏 社会福祉法人弥生福祉会 コミュニティソーシャルワーカー <司会> 西元幸雄氏 地域包括ケア実践研究会副会長
14:20 ～15:20	◆基調講演 地域包括ケアシステムの過去・現在・未来 国際医療福祉総合研究所 所長 中村 秀一 氏
15:20 ～16:20	◆特別講演 「地域包括ケアから地域共生社会へ」 全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一 氏
16:30 ～17:30	◆講演 地域包括ケアから我が事・丸ごとの地域共生社会へ 厚生労働省 大臣官房参事官 吉田 一生 氏
18:00～	◆意見交換会

【2日目】 令和 3 年 12 月 19 (日)

時 間	プ ロ グ ラ ム
8:45	開 場
9:00 ~10:00	◆ 講演 地域共生社会を可能にする福祉・介護人材について 厚生労働省保険局高齢者医療課長 本後 健 氏
10:00 ~10:50	◆問題提起 「地域包括ケアシステムから地域共生社会は深化できるか」 白澤 政和 氏 国際医療福祉大学大学院教授
11:00 ~12:30	◆シンポジウム 『地域包括ケアシステムから地域共生社会の実現に向けて』 <シンポジスト> 原田 正樹 氏 日本福祉大学 教授 中井 孝之 氏 シルバーサービス振興協会常務理事 西島 善久 氏 日本社会福祉士会会長 <コメンテーター> 古都 賢一 氏 全国社会福祉協議会副会長 本後 健 氏 厚生労働省保険局高齢者医療課長 <コーディネーター> 白澤 政和 氏 国際医療福祉大学大学院教授
12:30 ~12:40	◆次期開催大会長挨拶 広島大会 会長 丸山 法子 氏 一般社団法人リエゾン地域福祉研究所代表理事
12:40 ~12:45	◆閉会の挨拶 西元 幸雄 氏 地域包括ケア実践研究会副会長

※ 一部プログラムを変更させていただく場合があります。

会場のご案内 (別紙案内)

ホテルリガーレ春日野

ホテルリガーレ春日野

奈良公園

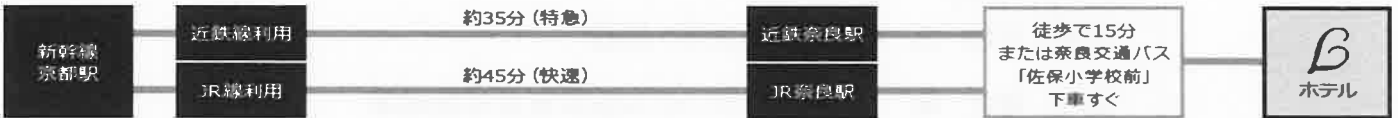


電車でお越しの場合 By train

■大阪より



■京都より



《ホテルリガーレ春日野》
 〒630-8113
 奈良県奈良市法蓮町757-2
 TEL 0742-22-6021
 □近鉄奈良駅～ホテルリガーレ春日野
 車4分 徒歩14分
 やすらぎの道経由 (1.2 km)



FAX 0743-66-1241

「第8回地域包括ケア実践研究会」参加申込書

法人名		
ふりがな 参加者氏名 職名	氏名	職名
ふりがな 参加者氏名 職名	氏名	職名
ふりがな 参加者氏名 職名	氏名	職名
ふりがな 参加者氏名 職名	氏名	職名
ふりがな 参加者氏名 職名	氏名	職名
連絡先住所	〒 ー	
連絡先電話番号		
連絡先FAX		
参加方法 どちらかの○をつけてください	対面(会場)	Web参加
参加費等について	振込予定日	月 日 予定
	参加人数 金額 手数料は各自で ご負担ください	参加人数
		合計金額
《備考》		

参加申込について

- 参加費 対面(会場)4000円/1人 ■Web 3000円/1人(資料代含む) ■意見交換会費 5000円/1人
- 定員 対面(会場) 100人 / Web (対面(会場)は先着順。定員になり次第、締め切ります)
- 締切 令和3年11月30日(火) 必着

■参加申込手順

- (1) 申込用紙に記入し、FAX または郵送にて事務局へ送付してください。
- (2) 参加費及び意見交換会費(参加希望者のみ)をお振込ください。
お振込の場合には、必ず参加者名を明記してください。
不明の場合には、参加ができない場合がございます。
振込手数料は各自でご負担ください。

《振込先》	南都銀行	天理支店	店番 180
	口座番号	普通	2371081
(加入者名)	地域包括ケア実践研究会		
	代表 林 芳繁		

- (3) 入金確認ができましたら、参加証をお送りしますのでご確認ください。

■注意事項

お振り込みされた参加費は、原則返金いたしませんのでご了承ください。お振り込み後に、参加者の変更およびキャンセル(返金)を行うことはできません。必ず当日参加される方のお名前をご記入ください。
参加証が12月10日までに届かない場合には、お手数ですがご連絡ください。

そのほかに

- 宿泊等はお手数ですが、各自で手配をお願いします。
- その他、お問合せご相談等は、下記事務局へご連絡ください。
- 会場である「ホテルリガーレ春日野」へのアクセスについて、別紙案内をご覧ください。

申込み・問合せ先

〒632-0056 奈良県天理市岸田町1199
社会福祉法人天寿会内 地域包括ケア実践研究会
事務局 榎井、松山まで
TEL 0743-66-1188 FAX 0743-66-1241